

科目名	国語 Japanese	科目コード	20010
-----	----------------	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・1年
担当教員	今野 哲
区分・単位数	履修単位科目・必履修・3単位
開講時期・時間数	通年，90時間【内訳：講義84，演習0，実験0，その他6】
教科書	高等学校国語総合改訂版，三省堂
補助教材	『カラー版新国語便覧新版初訂』，第一学習社 『音と形で覚える漢字の練習』，明治書院
参考書	国語辞典・古語辞典・漢和辞典など

【A．科目の概要と関連性】

中学校での学習を発展させ、国語を正しく理解し、適切に表現するための力を養う。3単位中おむね2単位を現代文・国語表現に、おむね1単位を古典に当て、1年間の学習を通して、思考力を向上させ、情操を豊かにし、伝え合う力を高める。また、言語文化の諸相に触れることによって、自らの世界観を広げ、言語生活を充実させる態度を育てる。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
文章の叙述に即して内容を的確に読み取る力を身に付ける。	-	(a1)
さまざまな文章を読んで、ものの見方・感じ方・考え方を広げる。	-	(a2・b1)
常用漢字の読み方・書き方に習熟する。	-	(b2)
文語のきまり、漢文訓読のきまりなどを理解する。	-	(a1・b1)
国語表現の特質を理解し、言語表現への関心を高める。	-	(b2)

【C．履修上の注意】

平生の予習・復習を欠かさないことが何よりも重要である。授業で扱う教材は、事前に必ず通読し、語句の読みや意味を調べておくこと。特に、古文・漢文については、音読の練習を欠かさないこと。また、辞書や参考書を活用する習慣を身に付けること。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

定期試験（80％）【内訳：前期中間20，前期末20，後期中間20，後期末20】

その他（20％）

【E . 授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	随想の読解（1）	
2	随想の読解（2）	
3	小説の読解（1）	
4	小説の読解（2）	
5	古文の学習（1）	
6	古文の学習（2）	
7	前期中間試験	試験時間：50分
8	評論の読解（1）	
9	評論の読解（2）	
10	詩歌の読解（1）	
11	詩歌の読解（2）	
12	漢文の学習（1）	
13	漢文の学習（2）	
14	国語表現の実践（1）	
-	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

後期

回	内容	備考
1	小説の読解（3）	
2	小説の読解（4）	
3	小説の読解（5）	
4	古文の学習（3）	
5	古文の学習（4）	
6	古文の学習（5）	
7	後期中間試験	試験時間：50分
8	評論の読解（3）	
9	評論の読解（4）	
10	評論の読解（5）	
11	漢文の学習（3）	
12	漢文の学習（4）	
13	漢文の学習（5）	
14	国語表現の実践（2）	
-	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	